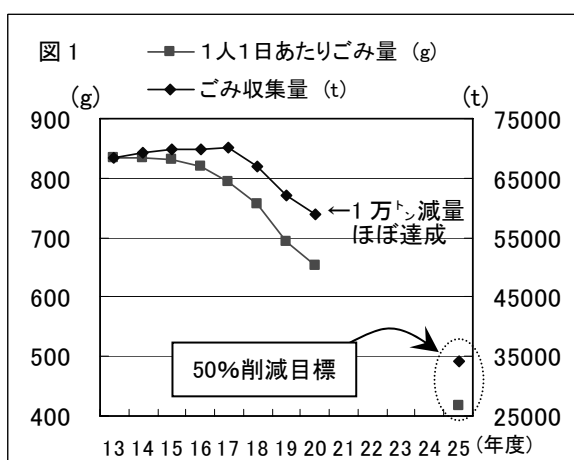


住民投票条例制定の 直接請求にご協力下さい！

**ごみ減量 1 万トン
ほぼ達成 《市民》**

**ごみが減らないから
ボックス撤去 《市》**



「ダストボックス方式が『美しい風格のあるまち』にふさわしいと判断しておりました。しかし、減量が進まない以上、この方式を継続していくことは、時代の潮流に逆行しているのではないかと、との考えに至りました。」平成19年7月1日号の「広報ふちゅう」の市長の言葉です。

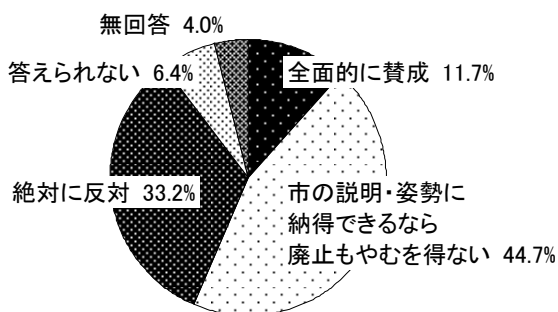
しかしここ数年、市民の努力により、ごみは大きく減っています。中間目標の「ごみ減量1万トン」も、今年度でほぼ達成します(9月議会で市が答弁)。

ごみについては、原点に戻って、市民とともに考えるべきではないでしょうか。

**《市民》ボックス撤去に
賛成12%、反対33%、保留45%**

**ボックス撤去を含めた
見直しを表明 《市》**

ダストボックスの廃止についてどう考えますか？
「ごみ減量に関する市民アンケート調査(平20)」より

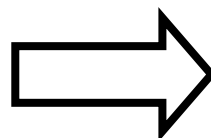


「他に方法がないのなら、ボックス撤去もやむを得ないが、他に方法があるのではないか。」というのが44.7%の市民の心ではないでしょうか。しかも3割は絶対反対で、賛成は1割にすぎません。

この状況下で、市は過半数の理解を得られたとしてダストボックス撤去を実施しようとしています。日野市長は、市長選の時に落選覚悟でボックス撤去を公約し、当選し、その後に施策を実施しました。

府中市長は、選挙でごみ問題に触れませんでした。今のような府中市のやり方で、果たして市民は「納得できる」でしょうか。

住民投票条例の制定を直接請求



《市》

今、住民投票条例を制定する意義は？

府中市では現在、ごみ処理方法のあり方が市政の大きな課題となっています。ごみは市民の生活に直結し、市民の関心も高い問題であり、市民の十分な納得を得た上で施策を展開する必要があります。

しかし現状は、市民の納得が十分に得られているとは言い難い状況にあります。今後、地方分権が本格化するにあたり、市民生活に直結する市政の課題はますます多くなっていくものと思われます。

そのために府中市としても、ごみ問題をはじめ、様々な市政の課題に対して、市民の意思がより直接的に反映できる手段として、住民投票制度を整えておくことはたいへん有意義であると考えます。

条例制定の「直接請求」とは？

住民が、条例の制定や改正を自治体に求めることができる制度で、地方自治法12条、74条などに定められた住民の権利です。直接請求の署名が有権者の50分の1(府中市の場合は約4,000人弱)以上集まると、市長は意見を付して市議会に諮(はか)らなければなりません。市議会が条例案を採択すれば成立します。

連絡先

市民合意を進める会 (代表 五百蔵 洋一)

(事務局) TEL/FAX 042-360-7718

〒183-0014 府中市是政 4-2-3 ライオンズガーデン府中市是政 222 号 佐藤 寛

朝日 11月27日

読売 11月27日

府中ごみ収集問題で
住民投票求める運動

府中市の「市民合意を求め
る会」(五百蔵洋一代表)は
26日、住民投票条例の制
定を求める直接請求運動に
乗り出すことを明らかにし
た。正式な届け出を済ませ
た後、1か月以内に有権者
の50分の1(約4,000人)
を集める署名運動をスタート
させるという。

府中ダストボックス廃止
住民投票条例へ
市民有志手続き

ごみの減量が進まないとし
て、現行のダストボックスに
よるごみの収集方法の見直し
方針が示された府中市で26
日、「重要な政策課題につい
ては市民一人ひとりに是非を
問う住民投票を実施してはし
ない」と、市民有志の「市民合
意を求めめる会」(代表・五百
蔵洋一弁護士)が住民投票条
例の制定を求める直接請求の
手続きを始めた。

同日、記者会見した五百蔵

五百蔵代表によると、同
市が今月21日に発表したご
み収集の見直し方針は、住
民の意向が十分受け入れら
れていないと判断したこと
が発端。方針には「ダスト
ボックスの撤去」などが含
まれており、こうした市民
生活に直結する重要な問題
をはじめとする市政の課題
について、市民の意思が反
映できる手段として「住民
投票制度」を整えておくこ
とが大切だ、としている。

代表らは「ごみの収集方式の
見直しを巡っては依然として
市民の間に賛成、反対様々な
意見があり、議論も不十分」
とし、「住民投票制度の整備
が必要だ」と説明した。
ごみ問題だけではなく、今
後の様々な重要課題に対応で
きるよう常設型の住民投票条
例を求めたいとしている。
直接請求では、有権者の50
分の1以上の署名を集めれば
請求が成立し、市議会で条例
案の可否が問われることにな
る。五百蔵代表らは近く署名
活動を始め、同市の場
合、成立には約4千人以上が
必要となる。